



毎日、発明する会社

2024年4月期

第2四半期決算説明資料

フリービット株式会社

2023年12月8日

1. 2024年4月期 第2四半期 連結業績	・ ・ ・ ・ ・	3
2. 2024年4月期 第2四半期 セグメント別業績	・ ・ ・ ・ ・	14
3. 2024年4月期 連結業績進捗	・ ・ ・ ・ ・	27
4. Appendix	・ ・ ・ ・ ・	33

1. 2024年4月期 第2四半期 連結業績

連結子会社（ギガプライズ社及びその子会社）決算期変更に係る影響

- ギガプライズグループ（GPG）は、決算日を3月31日から当社の連結決算日と同じ4月30日に変更いたしました。そのため、当連結会計年度における当該連結子会社は、2023年4月1日から2024年4月30日までの13ヶ月を連結対象期間とした変則的な決算となっており、当第2四半期連結累計期間においては、2023年4月1日から2023年10月31日の7ヶ月を連結決算に取り込んでおります。
- 本説明資料においては、「決算期変更影響含む値」と「決算期変更影響除外値」で説明いたします。

連結対象期間

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	(月)								
(前期) 23/04期	GPG	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	当社	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
(当期) 24/04期	GPG	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	当社	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
(来期以降) 25/04期～	GPG	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
	当社	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	

2024年4月期 第2四半期 連結業績サマリ

(単位：百万円)		23年4月期 第2四半期	24年4月期第2四半期 (決算期変更影響含む値)			(参考) 24年4月期第2四半期 (決算期変更影響除外値) ※1		
			実績	増減額	増減率 (参考)	実績	増減額	増減率
売上高	実績	22,581	27,073	+4,491	— (+19.9%)	25,341	+2,759	+12.2%
営業利益	実績	1,962	3,071	+1,109	— (+56.5%)	2,673	+711	+36.2%
	ベース利益 ※2	2,439	3,499	+1,060	(+43.5%)	3,101	+662	+27.1%
経常利益	実績	1,805	3,014	+1,209	— (+67.0%)	2,618	+813	+45.1%
	ベース利益	2,281	3,441	+1,159	(+50.8%)	3,046	+764	+33.5%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	実績	843	1,980	+1,137	— (+134.8%)	1,823	+979	+116.1%
1株当たり 四半期純利益	実績	44円87銭	99円22銭	54円35銭	—	79円42銭	34円55銭	—

※1 P.4に記載の通り、GPGの決算期変更の影響があることから対前年同四半期増減率は参考値となります。

※2 決算期変更影響除外値は、GPGの決算期変更の影響を除外した未監査の参考数値です。

※3 ベース利益は一時的な投資を除いた事業利益数値で、未監査の参考数値です。

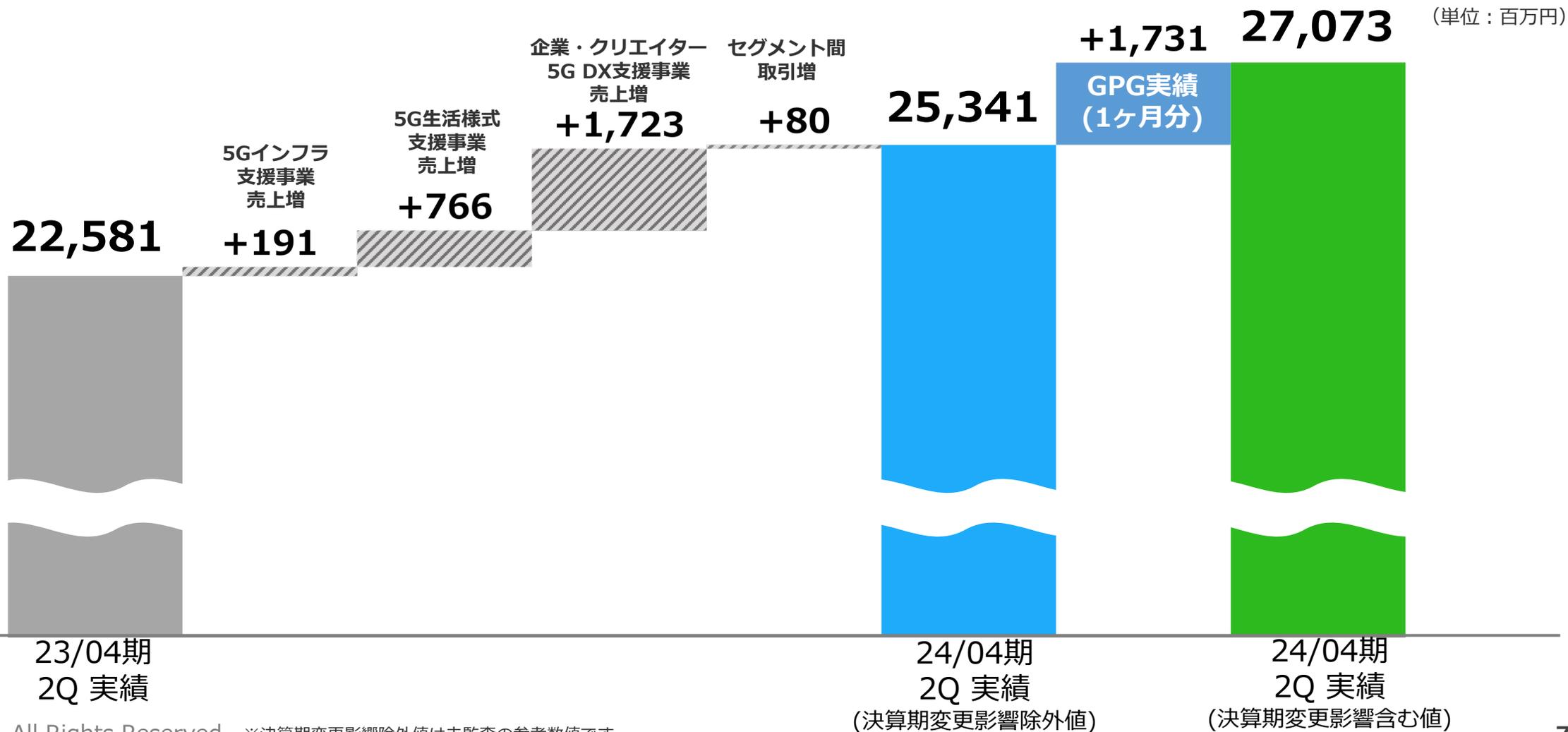
- 売上高は、5Gインフラ支援事業の**フリービットのB2Bモバイルサービスにおける規模拡大**、企業・クリエイター5G DX支援事業の**フルスピードグループの主力事業であるアフィリエイトサービスにおける顧客獲得**、5G生活様式支援事業の**ギガプライズの主力事業である5G Homestyle**の集合住宅向けISPサービスにおける提供戸数の順調な推移により、**前年同期比で19.9%増**（決算期変更影響除外値^(※1)：12.2%増）
- 営業利益は、戦略投資を実行しつつも、5Gインフラ支援事業、5G生活様式支援事業、企業・クリエイター5G DX支援事業、**全てのセグメントにおいて伸長し、前年同期比で56.5%増、ベース比^(※2)は42.5%増**（決算期変更影響除外値：36.2%増/ベース比26.2%増）
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益・経常利益の伸長及び投資有価証券売却益、関係会社株式売却益等の影響で**前年同期比で134.8%増**（決算期変更影響除外値：116.1%増）
- 第2四半期までの業績進捗を勘案し、**業績予想の上方修正を実施**
- 次期中期経営計画ではステークホルダーの皆様との関係性深化・還元強化の取り組みを計画
当中期経営計画では株主還元方針を前倒しで実行し**配当予想の修正（増配）を実施**
web3によるステークホルダーコミュニティ実証実験『One Vision』のスタートを発表

※1 決算期変更影響除外値は、未監査の参考数値です。

※2 ベース比は、ベース利益の対前年同期比です。

前年同期比差異分析 売上高

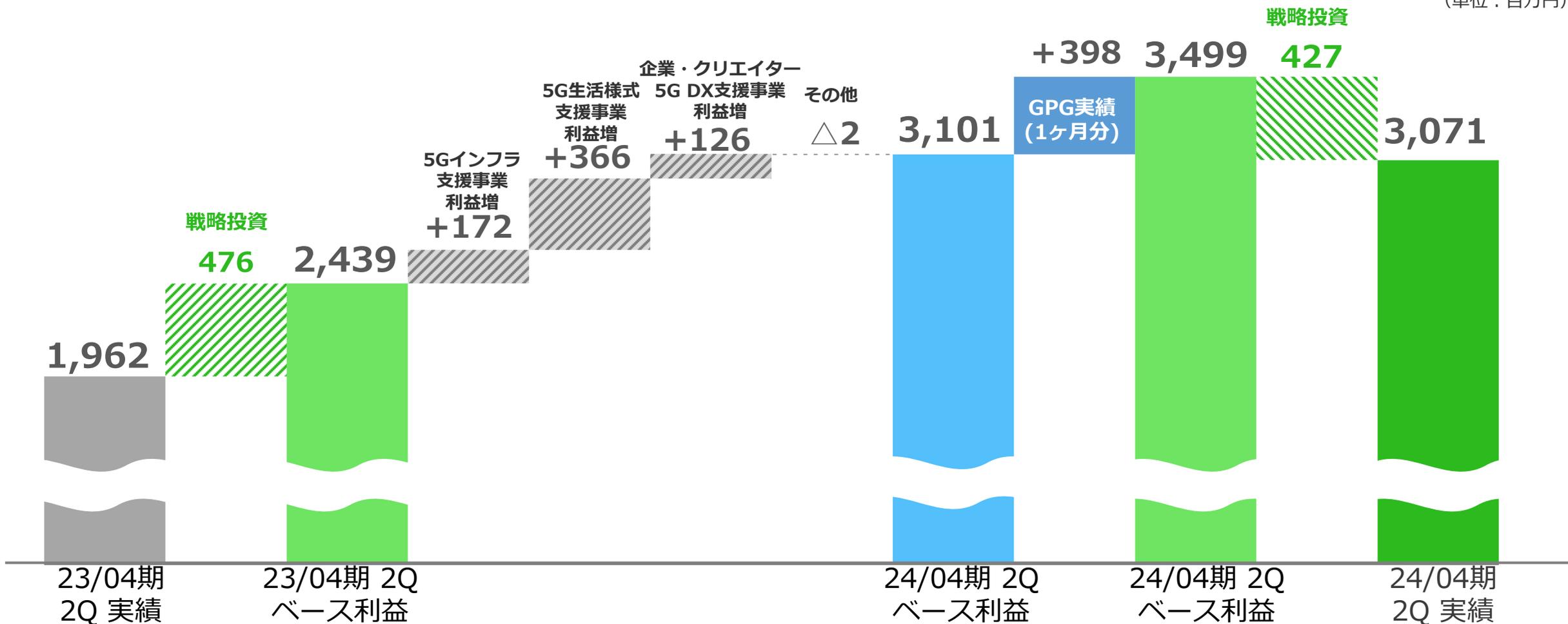
企業・クリエイター5G DX支援事業のアフィリエイト事業を中心に、
全セグメントが堅調に推移し、前年同期比で実績19.9%増
(決算期変更影響除外値：12.2%増)



前年同期比差異分析 営業利益

戦略投資を実行する一方で、5G生活様式支援事業を中心に全てのセグメントにおいて堅調に推移し、前年同期比で実績56.5%増、ベース利益43.5%増
 (決算期変更影響除外値：ベース利益27.1%増)

(単位：百万円)



5G生活様式支援事業の「TONE」及び「TONE Labo」ユーザーの獲得、インキュベーションゾーンの事業促進をはじめとした戦略投資を継続的に実施

■ 5Gインフラ支援事業

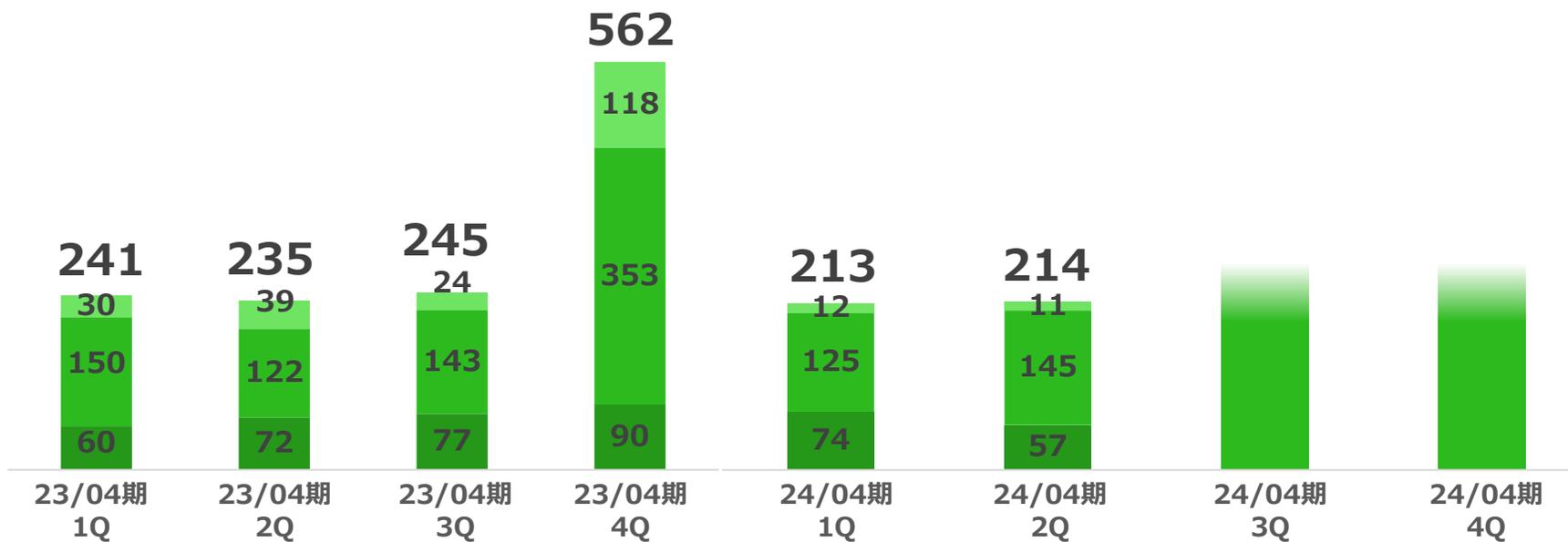
■ 5G生活様式支援事業

■ 企業・クリエイター 5G DX支援事業

(単位：百万円)

2023年4月期
総額 12.8億円

2024年4月期



2024年4月期 第2四半期 戦略投資実績

5Gインフラ支援事業(131百万円)

- ・ 5Gデータセンター整備
- ・ データ連携プロジェクト 等

5G生活様式支援事業(271百万円)

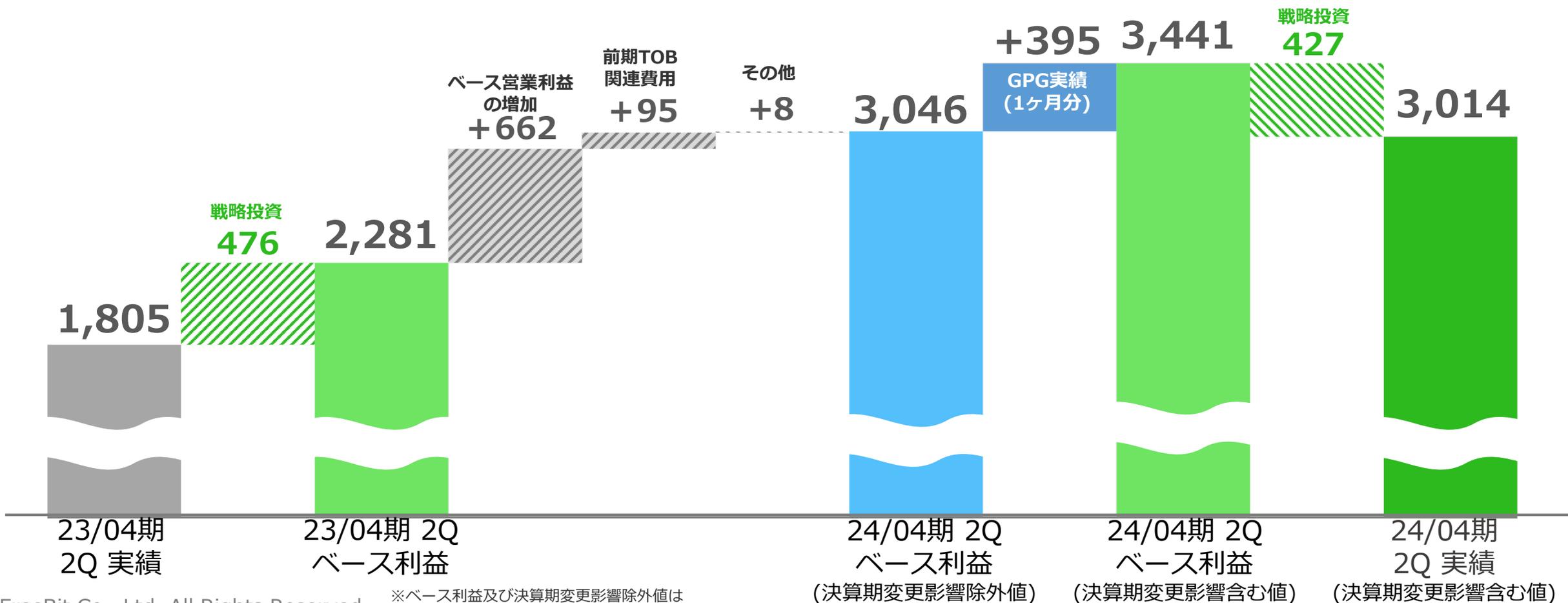
- ・ 「TONE」「TONE Labo」ユーザーの獲得 / TONE Open化施策
- ・ 5G Healthstyle領域「TONE Care」の開発及び実証実験
- ・ web3(Blockchain)関係の開発及びテスト実施
- ・ 「LIVING TOWN みなとみらい」プロジェクト関連費用 等

企業・クリエイター5G DX 支援事業(24百万円)

- ・ Creator Maker領域「StandAlone」プラットフォームの多面展開

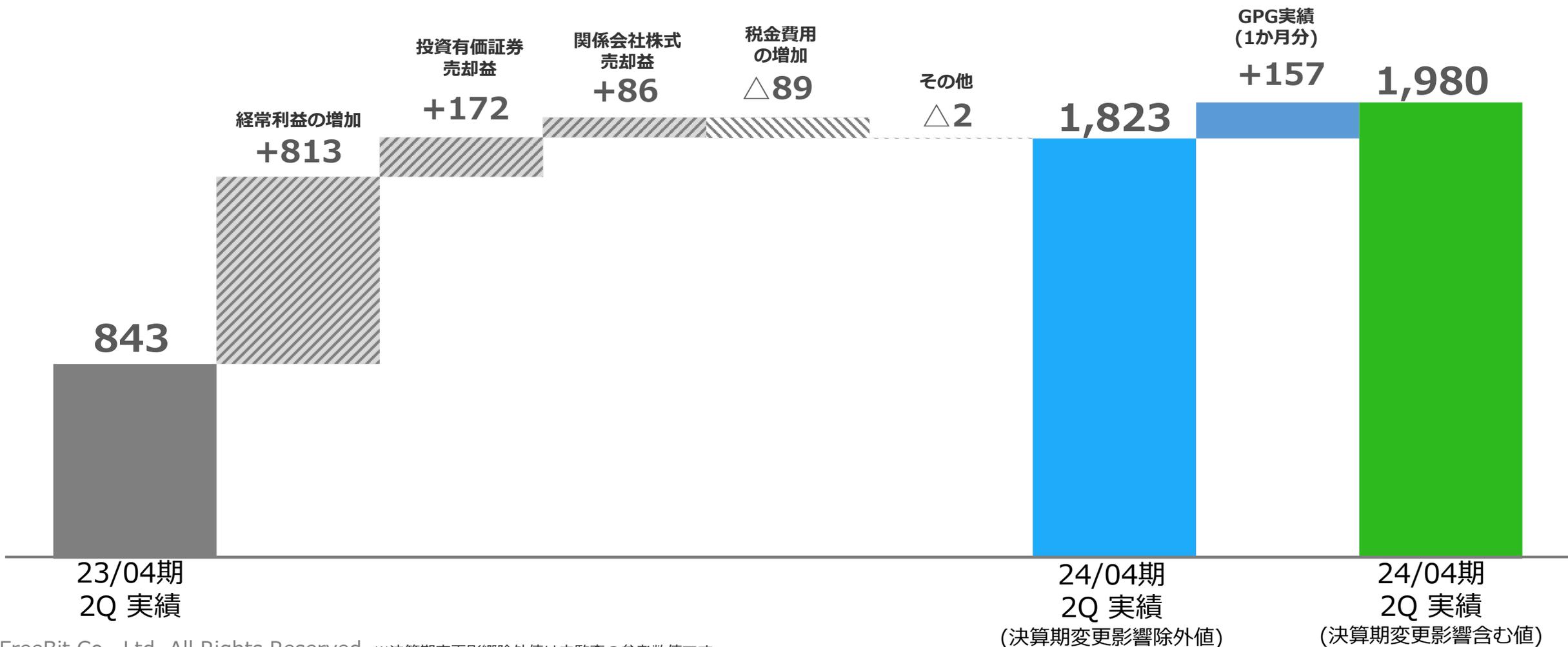
ベース利益の好調な推移により、前年同期比で実績67.0%増、ベース利益50.8%増
 (決算期変更影響除外値：ベース利益33.5%増)

(単位：百万円)

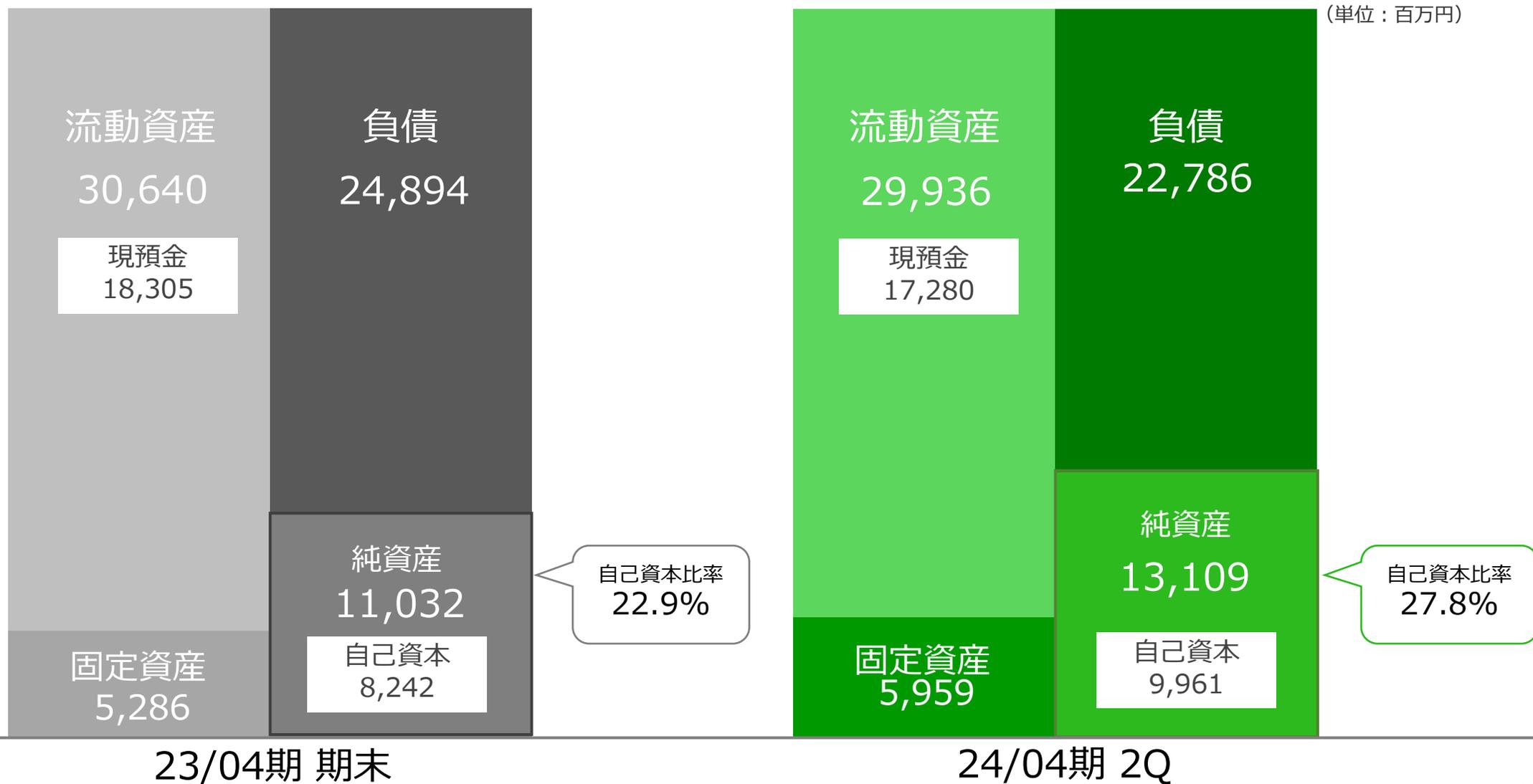


経常利益の増加等により、前年同期比で実績134.8%増
 (決算期変更影響除外値：116.1%増)

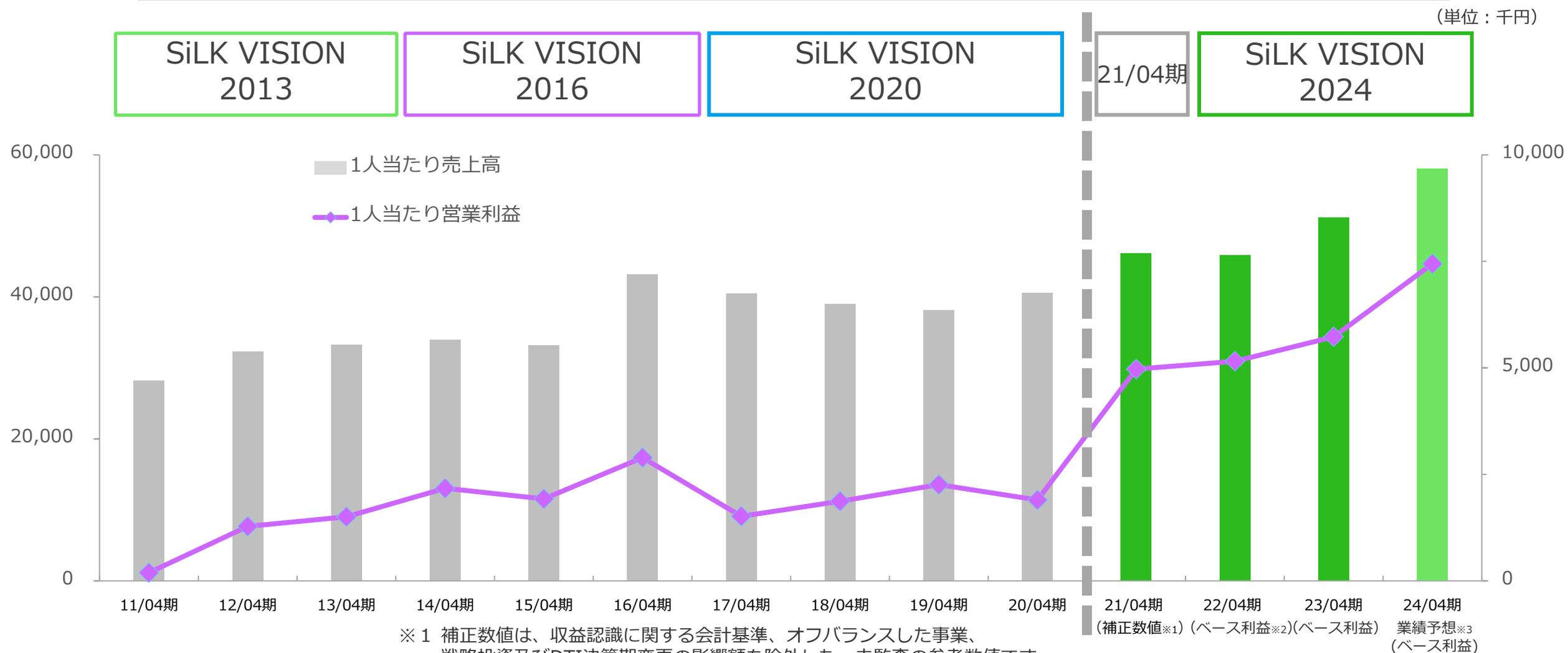
(単位：百万円)



業績の堅調な進捗による利益剰余金の増加及び有利子負債の圧縮等により
自己資本比率が27.8%に増加

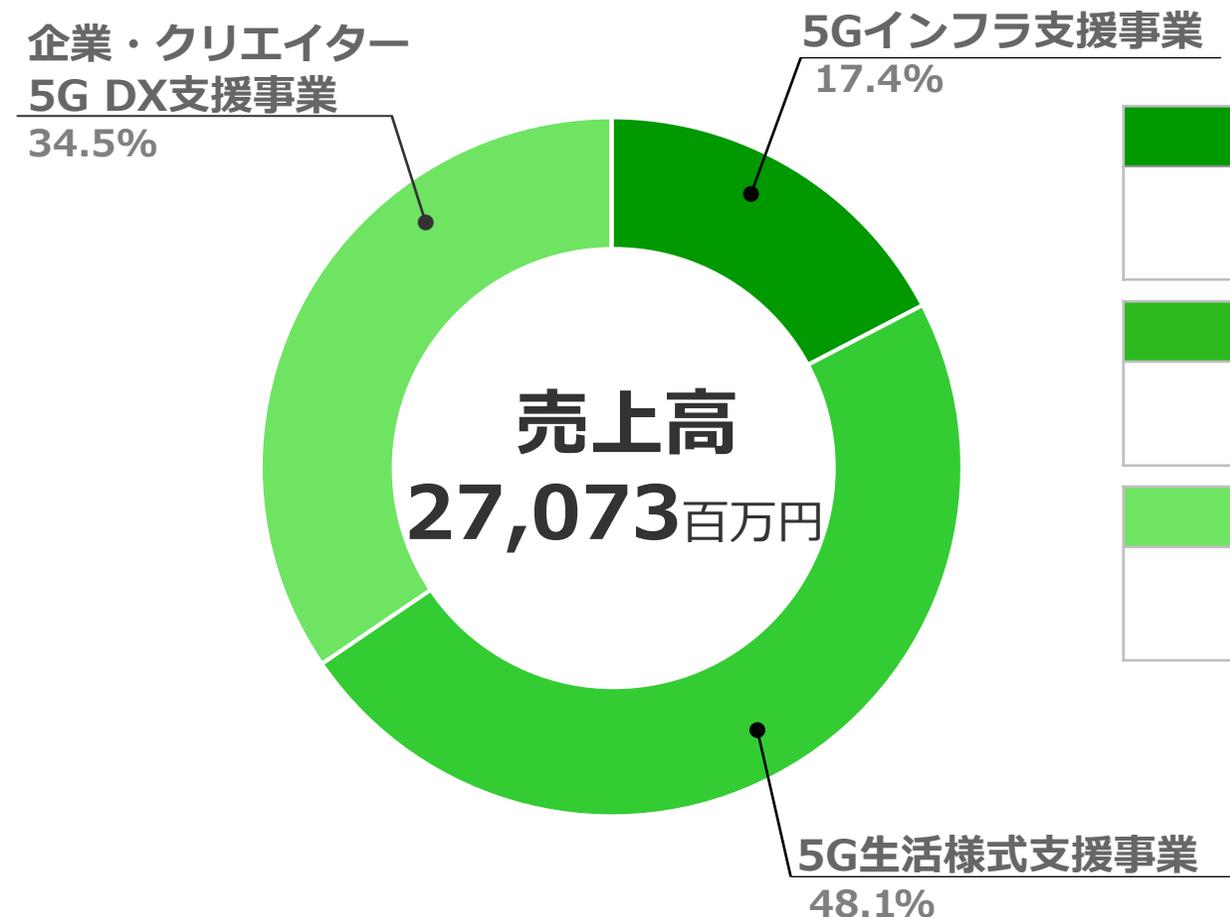


1人当たりの売上高・営業利益（ベース利益）は前期を上回り着地する見込み



2. 2024年4月期 第2四半期 セグメント別業績

5Gインフラ支援事業、5G生活様式支援事業、企業・クリエイター5G DX支援事業 全てのセグメントにおいて増収増益



売上高		セグメント損益	
5Gインフラ支援事業			
実績 4,924 百万円 YoY +4.1%		実績 906 百万円 YoY +23.6% (実績比) / +19.9% (ベース比)	
5G生活様式支援事業			
実績 13,654 百万円 YoY +22.4%		実績 1,746 百万円 YoY +78.2% (実績) / +61.0% (ベース比)	
企業・クリエイター5G DX支援事業			
実績 9,799 百万円 YoY +21.3%		実績 428 百万円 YoY +67.8% (実績) / +38.9% (ベース比)	

SiLK VISION 2020

SiLK VISION 2024

SiLK VISION 2027

SiLK VISION 2030

インキュベーションゾーン

トランスフォーメーションゾーン

パフォーマンスゾーン

- インフラテック事業 (freebit, DTI)
- アドテック事業 (FullSpeed)
- 不動産テック事業 (GIGA PRIZE)

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト
- Maker's Maker

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/
5G Carlifestyle (MaaS)

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)
5G Homestyle

5Gインフラ支援事業

既存事業のほとんどは
パフォーマンスゾーンにシフト
5GやeSIM対応等の時代の変化を
取り入れながら継続成長

B2B固定網のサービス利用減や人件費増等はあったものの、 B2Bモバイルのサービス利用増により前年同期比19.9%の利益増（ベース比）

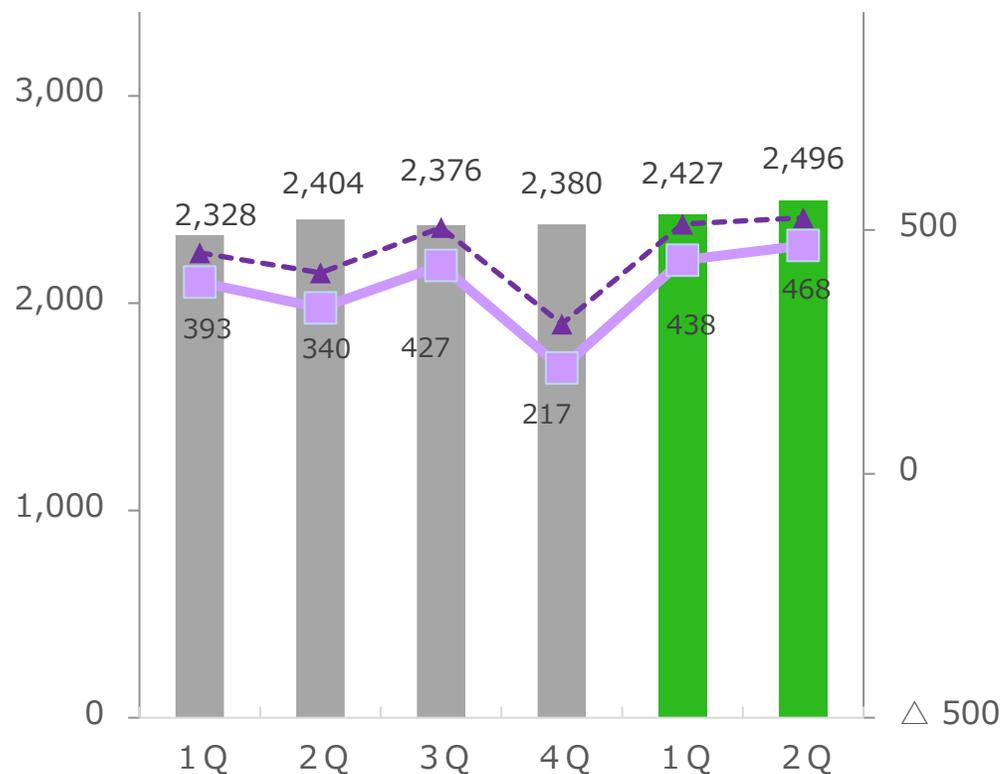
売上高・セグメント損益

セグメント損益前年同期比差異分析

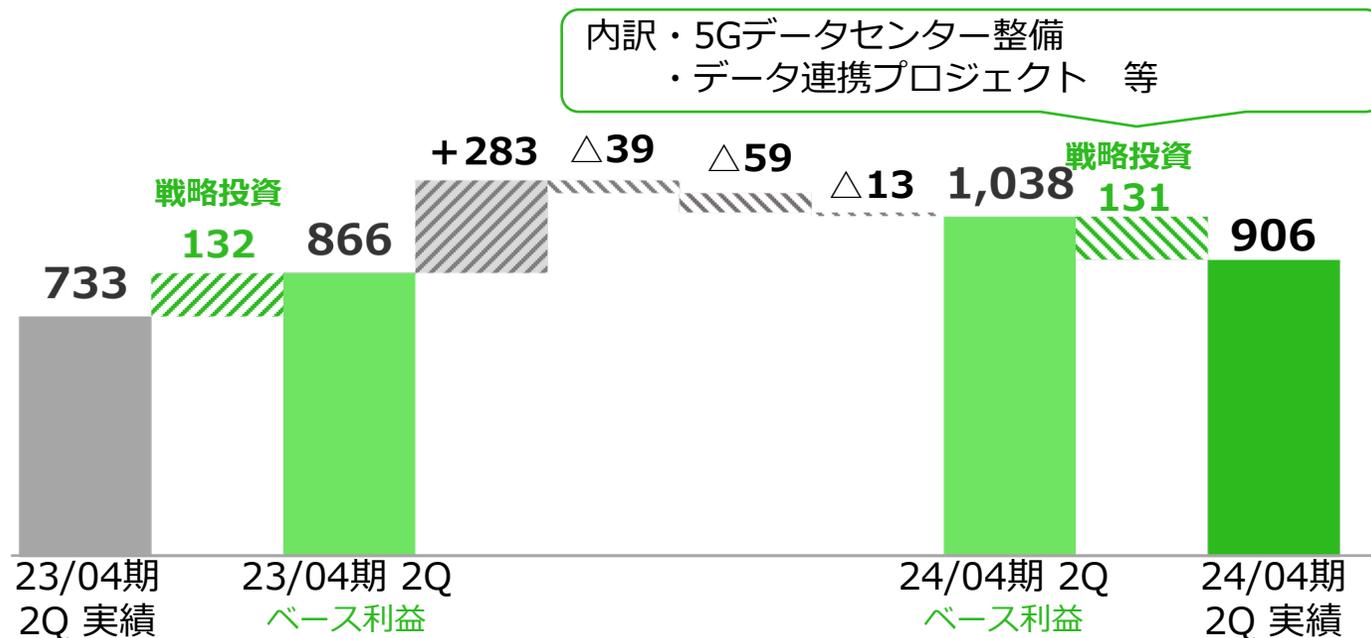
(単位：百万円)

(単位：百万円)

- 売上高（実績）
- セグメント損益（実績）
- ▲ セグメント損益（ベース利益）※



- +283 B2Bモバイル:サービス利用増による利益増
- △39 B2B固定網 :サービス利用減による利益減
- △59 人材強化による人件費増
- △13 その他



※ベース利益は未監査の参考数値です。

●顧客ニーズに合わせて独自プランやコンポーネントを提供

独自プランの提供

顧客独自のプラン作成をサポート。競合他社との差別化を専任担当者がお手伝い致します。



帯域幅での提供

必要な帯域幅を必要な時にご提供致します。アカウントでスタートしユーザ獲得後に設定変更なく帯域に移行も可能です。



ネットワーク運用監視サービスの提供

ドコモ網との接続や運用監視は弊社が実施します。顧客はマーケティング・販売・サポートに専念出来ます。



管理ツールの提供

ユーザ管理用のWebツール・API・データDLサイトを提供致します。また帯域契約の顧客にはトラフィック可視化ツールも提供致しますので、トラフィック状況が確認可能です。



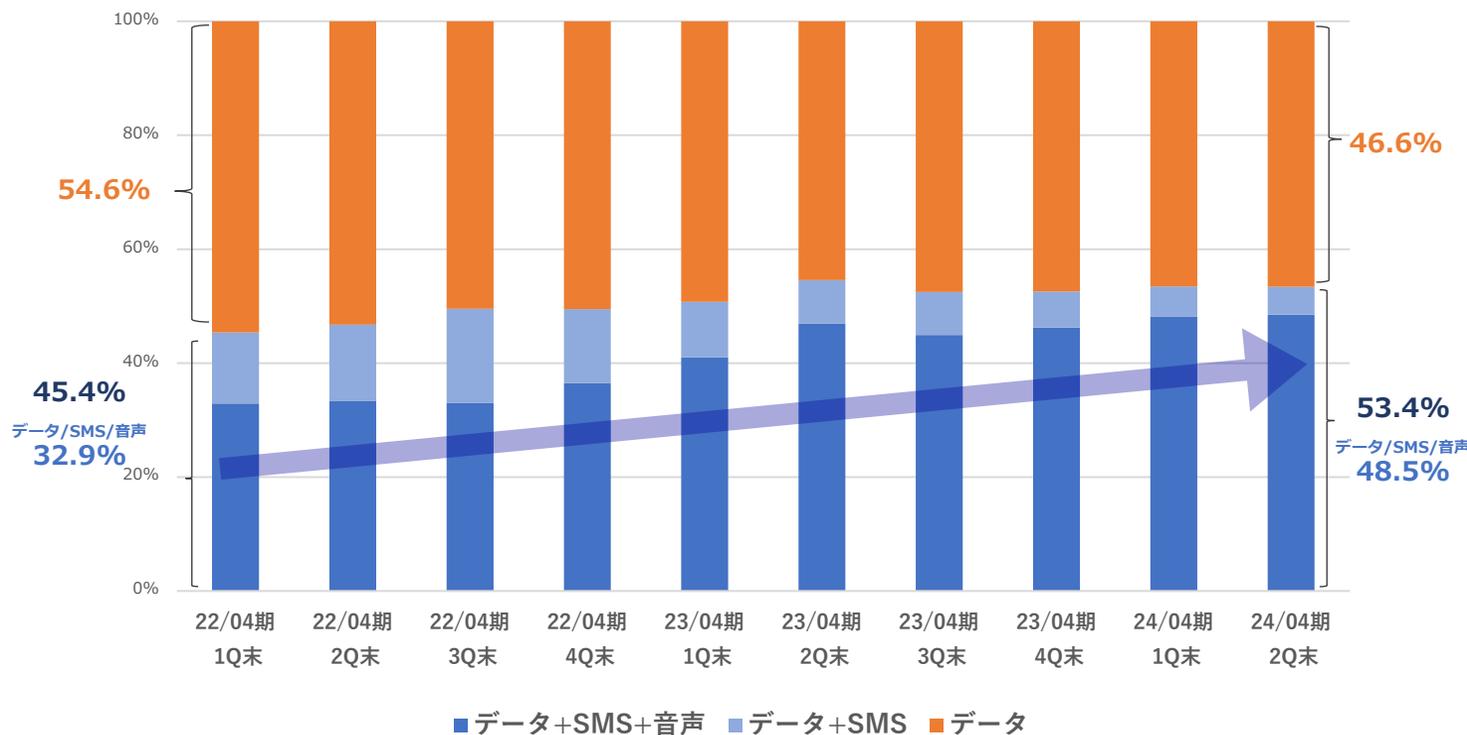
コンポーネントの提供

クラウド・VDC・固定IP・VoIPや、様々なセキュリティ機能を提供。スマホ等の通信機器、監視カメラやIoTモジュールも提供致します。ユーザサポートや配送も代行可能です。



●販売SIMの構成比推移

より付加価値の高いデータ+SMS+音声の販売数を伸ばし売上貢献



SiLK VISION 2020

SiLK VISION 2024

SiLK VISION 2027

SiLK VISION 2030

インキュベーションゾーン
トランスフォーメーションゾーン

パフォーマンスゾーン

- インフラテック事業 (freebit, DTI)
- アドテック事業 (FullSpeed)
- 不動産テック事業 (GIGA PRIZE)

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト
- Maker's Maker

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/
5G Carlifestyle (MaaS)

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)
5G Homestyle

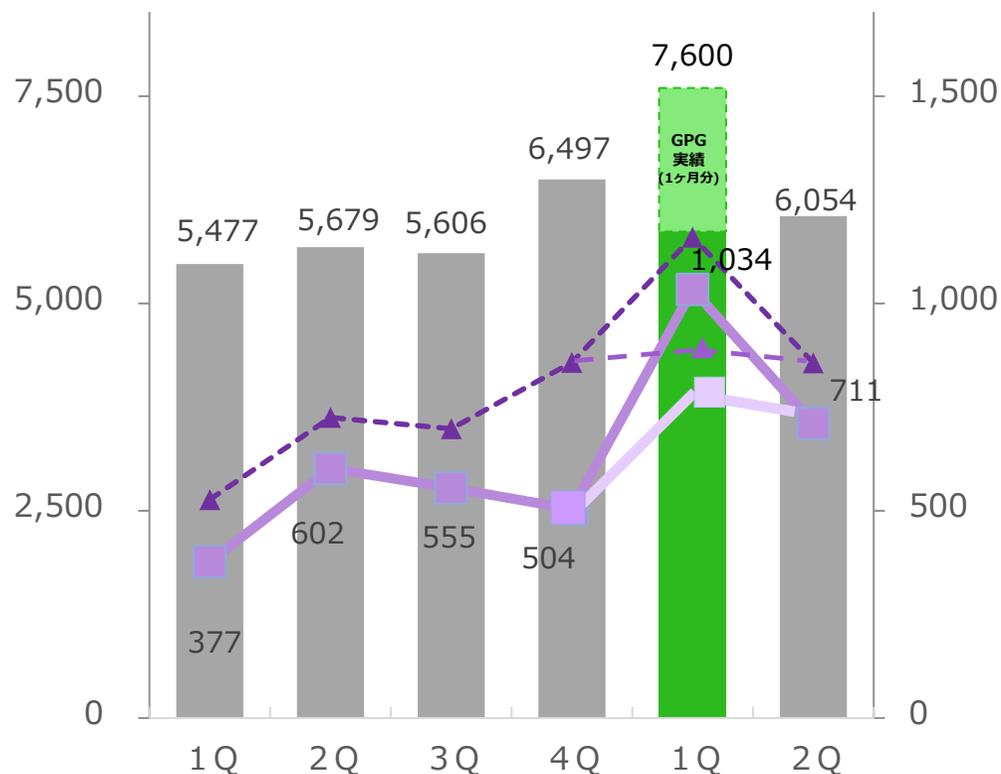
5Gインフラ支援事業

既存事業のほとんどは
パフォーマンスゾーンにシフト
5GやeSIM対応等の時代の変化を
取り入れながら継続成長

5G Homestyleの堅調な推移や、TONE事業の店舗網拡大投資完了等により 前年同期比61.0%の利益増 (ベース比) (決算期変更影響除外値：ベース比29.2%増)

売上高・セグメント損益

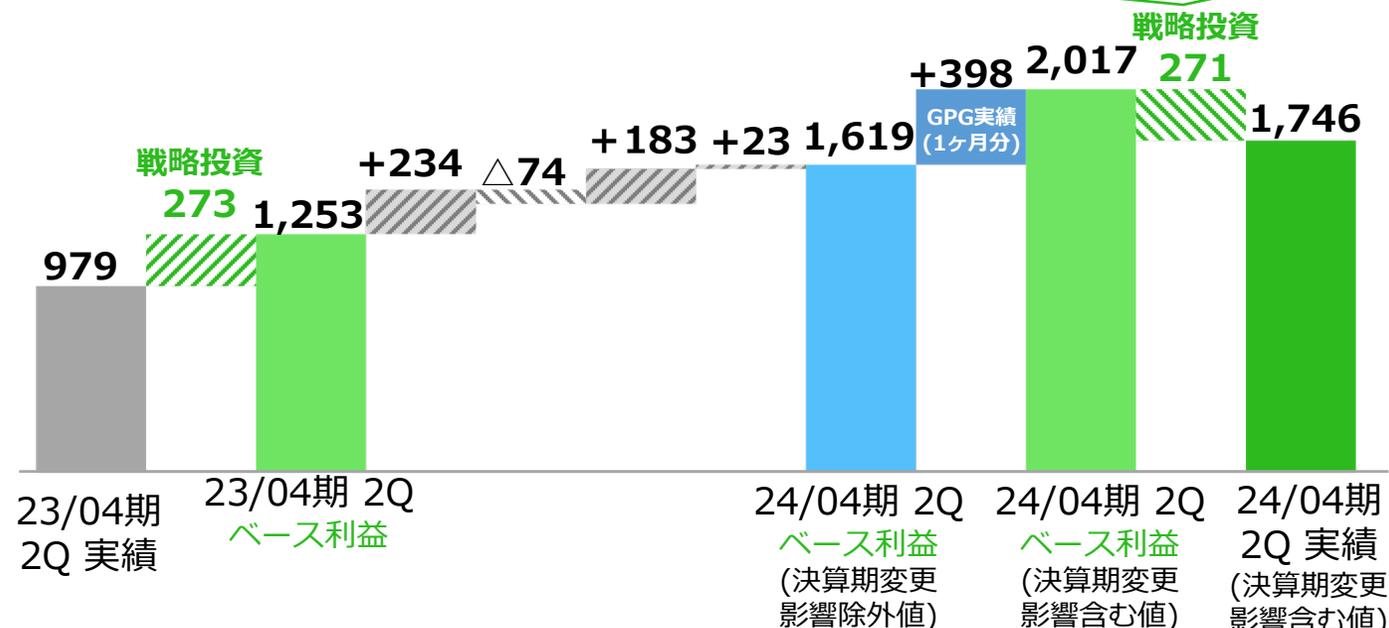
- 売上高 (実績)
 - セグメント損益 (実績/決算期変更影響含む値)
 - セグメント損益 (実績/決算期変更影響除外値) ※
 - ▲ セグメント損益 (ベース/決算期変更影響含む値) ※
 - ▲ セグメント損益 (ベース/決算期変更影響除外値) ※
- (単位：百万円)



セグメント損益前年同期比差異分析

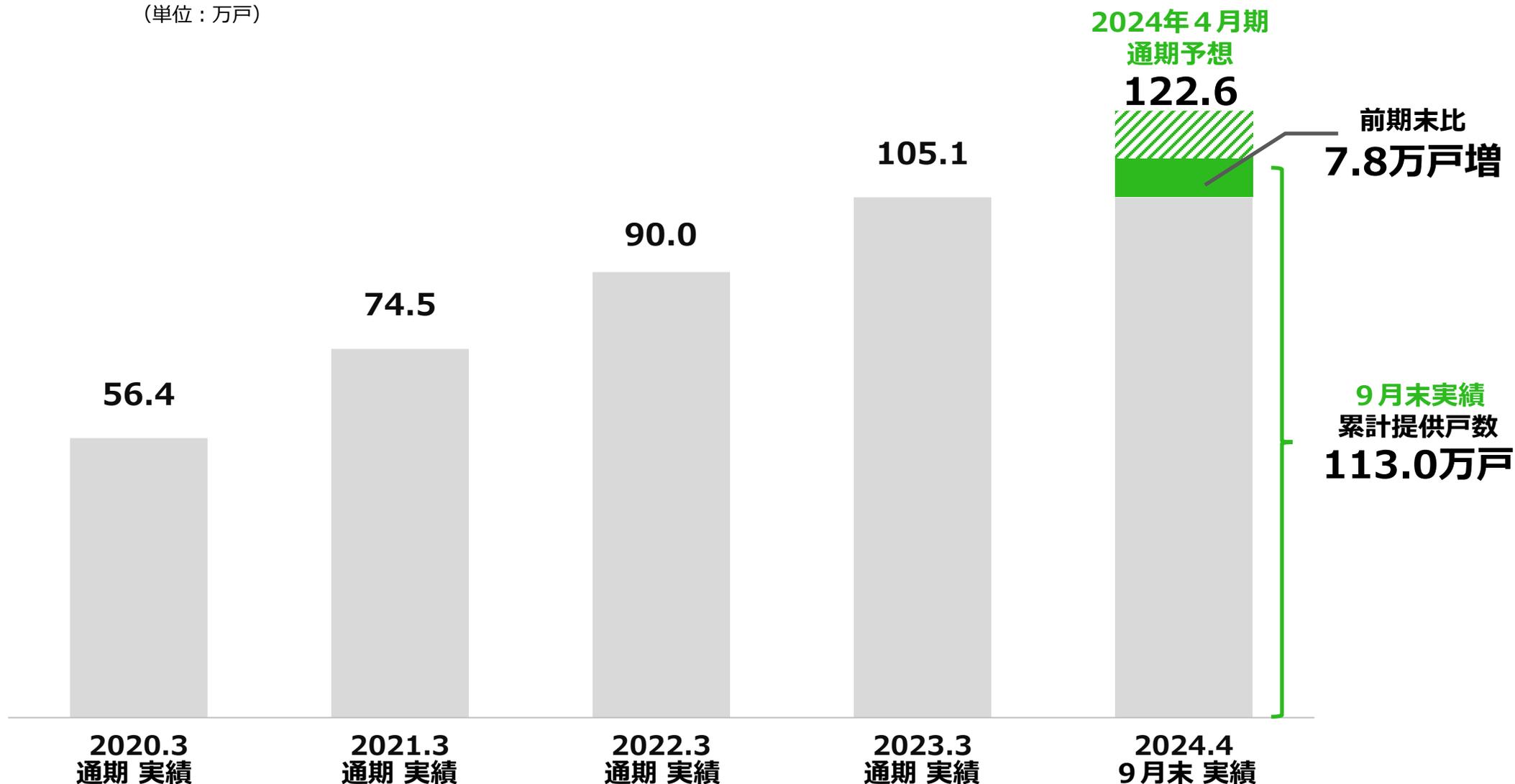
- +234** 5G Homestyle (GPG) の売上増による利益増 (単位：百万円)
- △74** 5G Lifestyle (DTI) の固定網サービス利用減による利益減
- +183** 前期発生した新端末発売の一時費用及びドコモショップとの連携開始による初期費用減による利益増
- +23** その他

内訳：「TONE」「TONE Labo」ユーザーの獲得 / TONE Open化施策
 ・5G Healthstyle領域「TONE Care」の開発及び実証実験
 ・web3 (Blockchain) 関係の開発及びテストの実施
 ・「LIVING TOWN みなとみらい」プロジェクト関連費用



5G Homestyle (GPG) の重要指標である集合住宅向けISPサービスの提供戸数は前期末比で7.8万戸増の累計113.0万戸と順調に推移

(単位: 万戸)



「LIVING TOWN みなとみらい」 9/30 (土) 第1期オープン 5G Homestyle等を体感できるテストベッドとしての取組みを順次開始

- 「LIVING TOWN みなとみらい」 第1期オープン
5G/web3時代の新たな住まいや暮らし方を提案

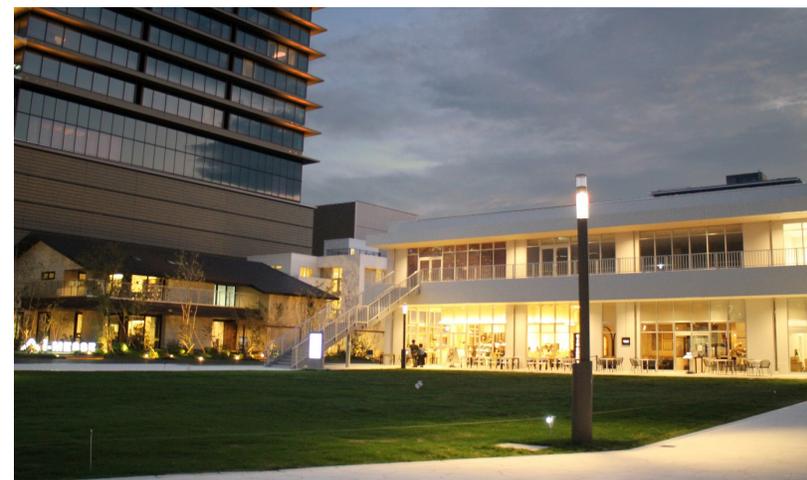
「LIVING TOWN みなとみらい」が9/30(土)に第1期オープン。IoTをはじめ次世代通信やフリービットグループが有するブロックチェーン技術等と連携しながら、先進テクノロジーを活用した5G/web3時代における生活様式「5G Homestyle」等を体感・体験できる拠点、新たな住まいや暮らし方の提案をする取組みを順次展開

- 5G/web3時代の取組みの1つとして
『Secual Smart Pole』を設置
『SILK VISION 2027』を見据えたPoC準備も進行

「LIVING TOWN みなとみらい」の5G/web3時代を見据えた取組みとして、防犯・防災・見守り機能を搭載した次世代街灯を設置
他にも『SILK VISION 2027』を見据えたPoCの最終準備を進めており、2024年前半より順次実行の予定



<LIVING TOWN みなとみらい>

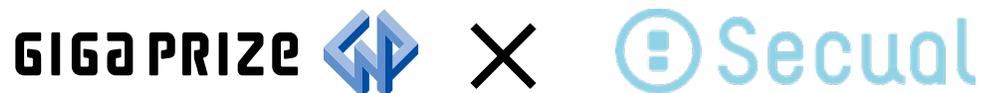


<LIVING TOWN みなとみらいに設置された「Secual Smart Pole」>

Secual社と連携し戸建賃貸住宅に向けたサービス導入を開始 社宅管理業務代行事業では、TOKIUM社・NICリテールズ社へのサービス開始

- トップシェアである集合住宅市場に加え、**戸建賃貸住宅市場**へのサービス提供開始

Secual社と共同リリースした全戸一括型ISPサービス「NiSUMU CONNECT」について、従来より提供している分譲地に加え、新たに戸建賃貸住宅へもサービス導入が決定
ギガプライズ社では、主力事業の集合住宅向けサービスに加え、新たな顧客及び市場の開拓を推進



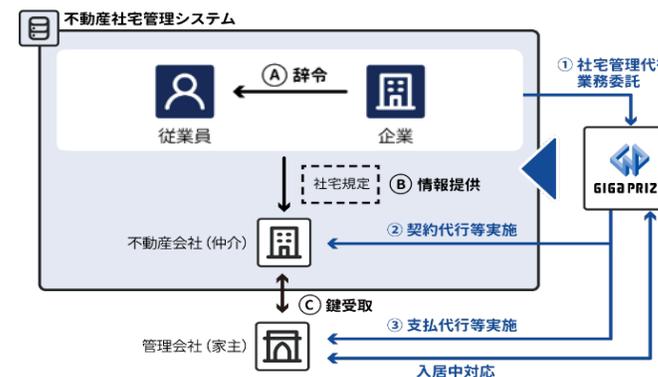
戸建賃貸住宅イメージ

- TOKIUM社・NICリテールズ社との社宅管理業務代行委託契約を締結

ギガプライズ社の社宅管理代行サービスでは、企業の社宅管理業務およびコストの大幅な削減を支援するため、全国の提携不動産会社を通じた物件紹介、賃貸借の契約業務、家賃の支払いや法定書類の作成等、多岐にわたる社宅管理に関連する業務を代行
9月よりTOKIUM社、10月よりNICリテールズ社へ社宅管理代行サービスの提供開始



NIC RETAILS



社宅管理代行サービスイメージ

SiLK VISION 2020

SiLK VISION 2024

SiLK VISION 2027

SiLK VISION 2030

企業・クリエイター5G DX支援事業
Creator Maker (StandAlone)
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/
5G Carlifestyle (MaaS)

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)
5G Homestyle

5Gインフラ支援事業

既存事業のほとんどは
パフォーマンスゾーンにシフト
5GやeSIM対応等の時代の変化を
取り入れながら継続成長

インキュベーションゾーン

トランスフォーメーション
ゾーン

パフォーマンスゾーン

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト
- Maker's Maker

- インフラテック事業 (freebit, DTI)
- アドテック事業 (FullSpeed)
- 不動産テック事業 (GIGA PRIZE)

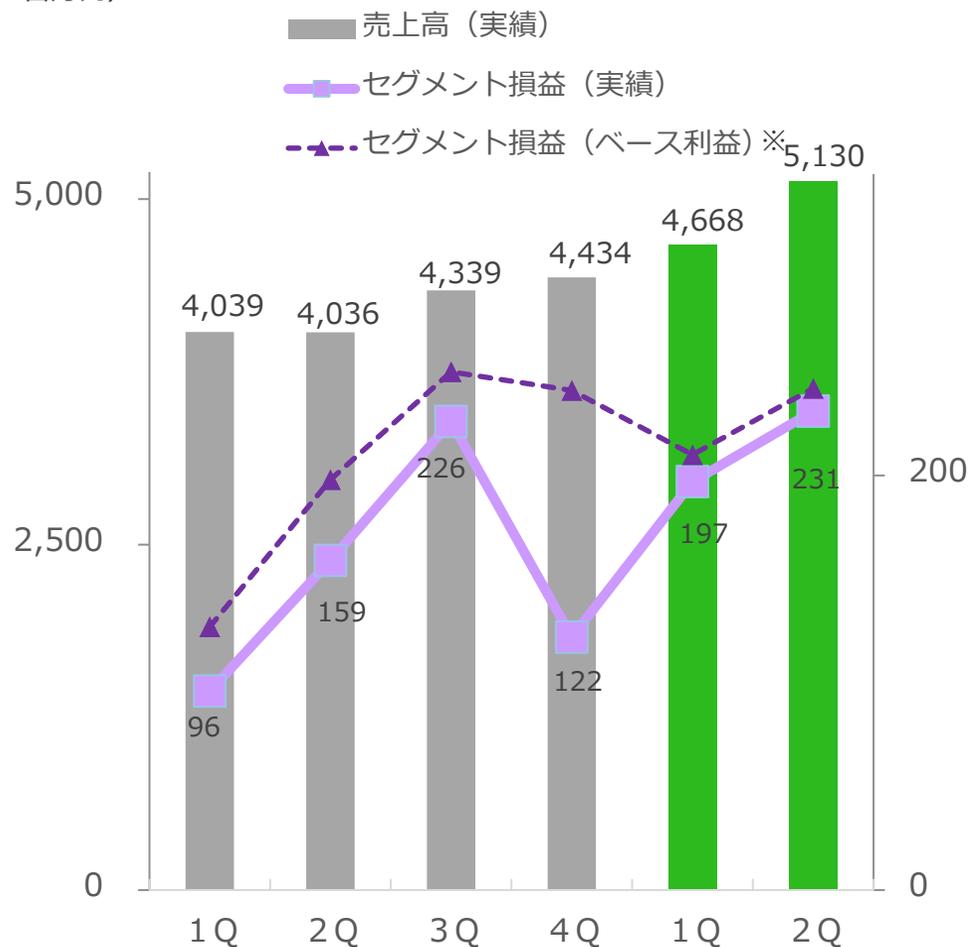
アフィリエイト事業が好調に推移し売上高及び粗利増

FS完全子会社化に伴うPMI効果の販管費減等で前年同期比38.9%の利益増 (ベース比)

売上高・セグメント損益

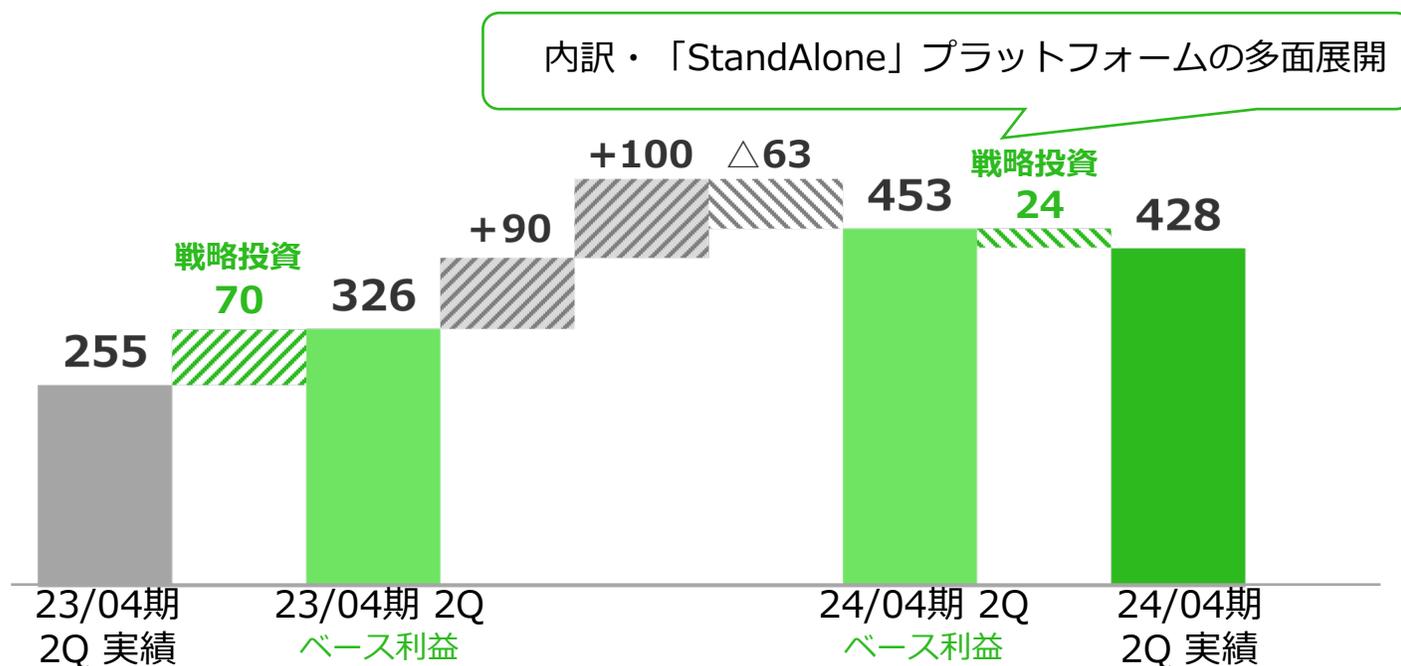
セグメント損益前年同期比差異分析

(単位：百万円)



(単位：百万円)

- +90 注カジャンルの強化及び新規顧客獲得によるアフィリエイト事業での粗利増
- +100 FS完全子会社化に伴うリソース最適化といったPMI効果等による販管費減
- △63 その他



内訳・「StandAlone」プラットフォームの多面展開

インターネットマーケティング支援ツールで新機能の提供開始 StandAloneでは新規アプリのリリースに向け開発着手

● 生成AIを使ったライティングツールの提供開始



被リンク分析・競合調査ツールの「Ahrefs」では、生成AIを使ったライティングツールを無料で提供しライティングの省力化を実現
合計22種類のAIツールが搭載されており、入力したテキストを再校正した文章が生成されるほか、書式のスタイル（固めの文章、親しみやすい、カジュアル）での文章生成も可能

● クリエイターコミュニティ向けサービスの横展開がついに開始

web3時代を見据えたファンコミュニティツール「StandAlone」にて、アーティストのアプリが順次リリース
演劇『ハイキュー!!』に出演した俳優・永田崇人さんの『NAGATOWN』が9/14に、ドラマ『仮面ライダーリバイス』に出演した女優・椛島光さんの『ひかりだより』が10/24にリリース
新たに騎手・池添謙一さんの『TEAM KEN.1』リリースに向け準備を進める

● 「ブランドセーフアフィリエイト」新機能追加 従来人的チェックを行っていた部分のシステム化を実現し 他社にはないサービスを提供

ブランドセーフアフィリエイトとは
機能紹介 | PR / 広告表記のチェック

Full Speed

広告主へアフィリエイト広告のリスク管理を行うシステム「ブランドセーフアフィリエイト」でステマ規制対策の強化を受け新機能「PR表記チェッカー」をリリース
掲載面のPR表記（PR、広告、プロモーション等）の有無をシステムで判定
掲載内容について、従来人的チェックや代行業者を行っていた部分をシステム化した、他社では提供していない独自サービス



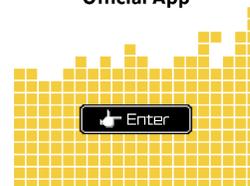
9/14～ 『NAGATOWN』

10/24～ 『ひかりだより』

リリース準備中 『TEAM KEN.1』



Takato Nagata
Official App

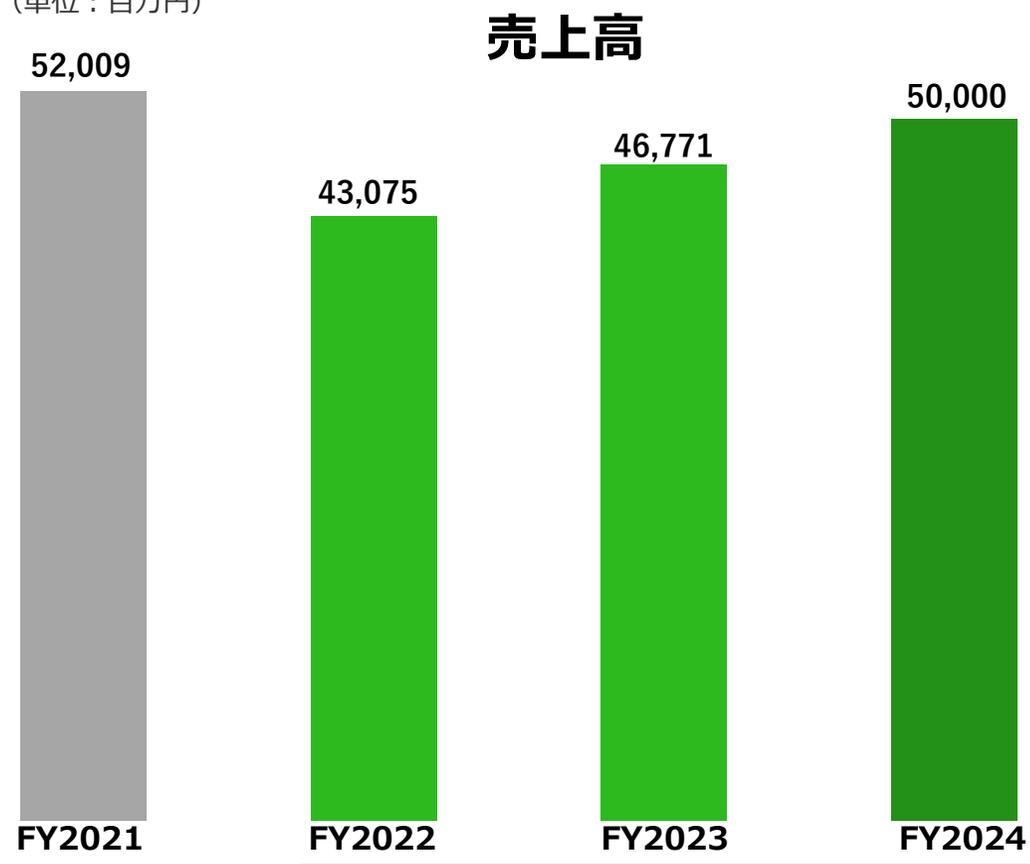


※デザインはリリース時に
変更となる場合があります。

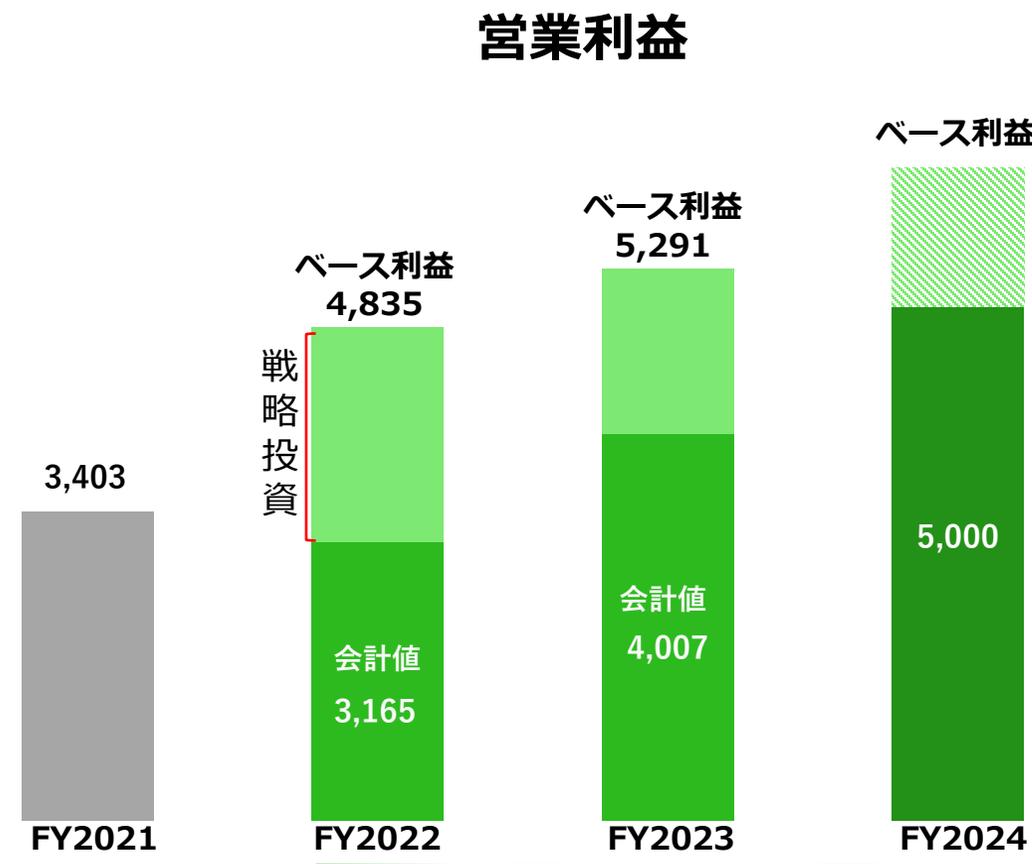
3. 2024年4月期 連結業績進捗

フリービットグループ 2024年4月期業績目標 連結売上高**500億円**・連結営業利益**50億円**企業を目指す

(単位：百万円)



SiLK VISION 2024

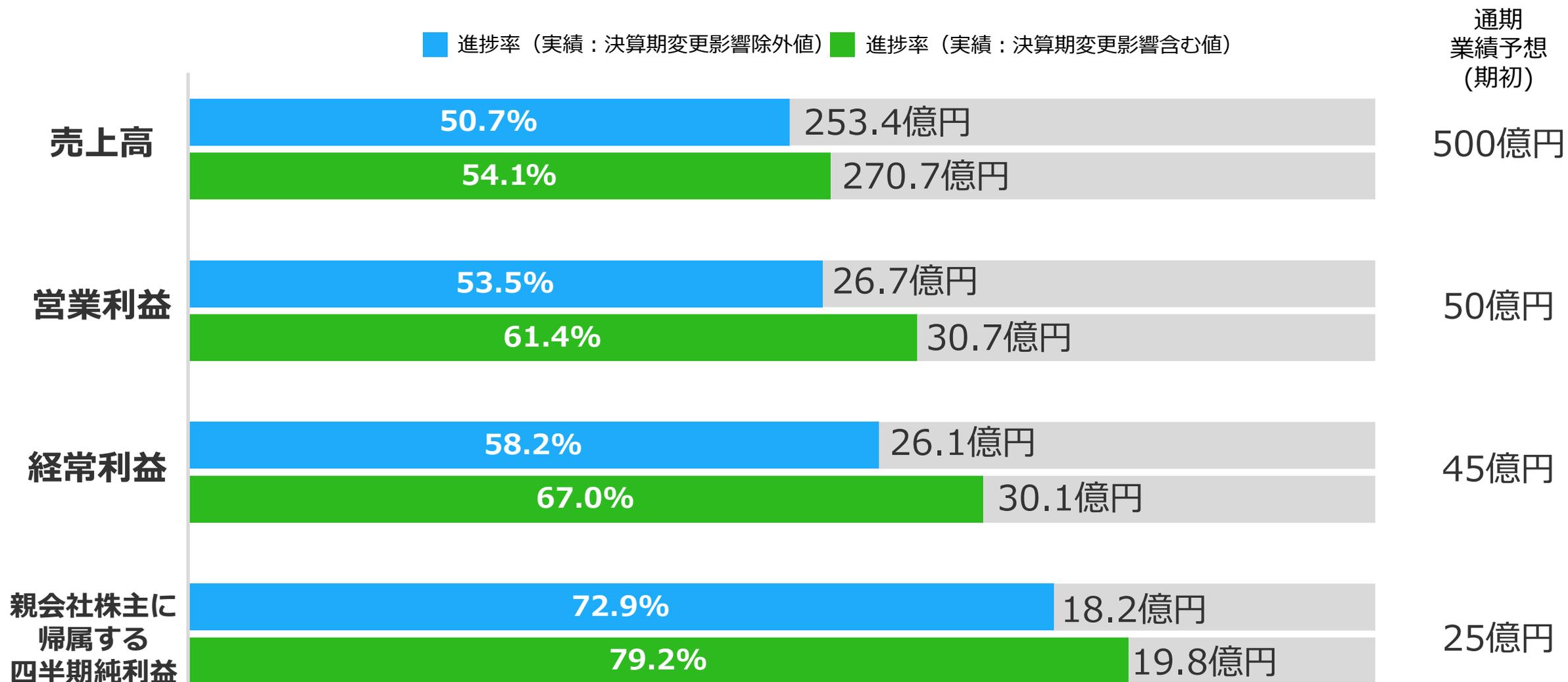


SiLK VISION 2024

※1 FY2021の売上高・営業利益は「収益認識に関する会計基準」等の適用前の数値です。

※2 ベース利益は、未監査の参考数値です。

期初業績予想に対し売上高及び各段階利益の全てにおいて、
計画を上回って推移



(単位：百万円)	前回発表予想 (A)	今回修正予想		増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績 (2023年4月期)
		決算期変更影響含む値 (B)	決算期変更影響除外値 (参考)			
売上高	50,000	53,000	51,269	+3,000	+6.0%	46,771
営業利益	5,000	5,500	5,102	+500	+10.0%	4,007
経常利益	4,500	5,200	4,805	+700	+15.6%	3,707
親会社株主に帰属する当期純利益	2,500	3,000	2,843	+500	+20.0%	1,792
1株当たり当期純利益	125円25銭	150円27銭	142円38銭	-	-	95円07銭

業績修正の背景

【売上高】

- 「5Gインフラ支援事業」でのフリービットを中心とするB2Bモバイルサービスの規模拡大に加え、「企業・クリエイター5G DX支援事業」のフルスピードグループの主力事業であるアフィリエイトサービスにおける顧客獲得、「5G生活様式支援事業」のギガプライズの主力事業の5G Homestyle（集合住宅向けISPサービス）のサービス提供戸数における順調な推移に伴い、第2四半期累計期間の業績が期初想定を上回る着地となったことから業績予想の上方修正を実施

【営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益】

- 売上高において、全セグメントが想定を上回り推移した影響に加え、前期に引き続き戦略投資の効率的実施ならびに販売管理費を始めとする費用支出が期初想定より下回ったことで各段階利益でも上方修正を実施

次期中期経営計画では、ステークホルダーの皆様との関係深化及び還元強化を計画
取り組み開始の一環として、当中期経営計画でも株主還元方針を前倒して実行

2023年12月8日開示



2023年12月8日

各位

会社名 フリービット株式会社
(コード番号 3843: 東証プライム市場)
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
代表者 代表取締役社長 CEO 兼 CTO 石田 宏樹
問合せ先 取締役執行役員グループ経営企画本部長 和田 育子
電話番号 03 - 5459 - 0522 (代表)
(URL <https://freebit.com/>)

2024年4月期通期業績予想の上方修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2023年6月9日に公表した2024年4月期の通期業績予想を上方修正するとともに、配当予想についても下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

配当の推移

	2021年4月期 (実績)	2022年4月期 (実績)	2023年4月期 (実績)	2024年4月期 (予想)
基準日	2021年4月30日	2022年4月30日	2023年4月30日	2024年4月30日
1株当たり 配当金	7円00銭	7円50銭	8円00銭	27円00銭

Transformation
Term

SiLK VISION 2024

長期的な株主との関係形成のため、
業績に左右されない安定的な配当実施

ステークホルダー
との関係性深化・
還元強化を進める

成果前倒し達成見込み
によるTransform Term



本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社
グループ経営企画本部 IR担当
Email freebit-ir@freebit.net
WEB <https://freebit.com/>

4. Appendix

3つの革命領域と各事業の説明

モバイル革命領域

環境問題、高齢化社会、低成長等の様々な社会問題を解決して持続可能な社会を実現するために、人々の生活の効率化と知の生産革命の基盤となるインフラを提供する領域。

5Gインフラ支援事業

5GとeSIM(SIMのソフトウェア化)/ AI / Blockchainにより「ヒト」だけでなく膨大な「モノ」を安心・安価にConnectedな状態とすることで、その先につながる「コト(消費)」市場の創出までを支援するプラットフォームを提供する事業。

市場の可能性

国内産業向け5G関連市場は2,106億円、IoT市場は10.2兆円※という巨大市場の創出が見込まれる。その市場を視野に入れ、安定かつ安心・安全な通信インフラサービスの継続的な提供を行いつつ、5G時代に対応する次世代ネットワークやデータセンターを構築し、5GやeSIMを活用した新サービスの展開を目指す。

生活革命領域

持続可能な社会への移行のためには人々の働き方、学び方、生活の仕方が変わることとなるが、そのために必要な社会問題を解決し、新しい社会と価値を創造する領域。

5G生活様式支援事業

5G支援事業によって生み出されるプラットフォームを活用し、5G時代ならではの「安心安全な生活」「健康」「働き方」「住まい」等の様々な「コト」市場の創造を支援する事業プラットフォームを構築・提供する事業。

市場の可能性

新型コロナにより人々の欲求は、マズローの5段階説の「安全欲求」まで下がったが、社会経済活動の制限緩和を背景に、徐々に高次の欲求(=コト消費)が復活。生活へのITの浸透が5Gで加速することも「モノ→サービス→コト」というより高次の市場創出に寄与する。

生産革命領域

社会問題の解決のために、膨大な知識の中から適切な知識を動員するための「知の構造化」を行い、それによる「知の生産革命」によってイノベーションを起こす領域。

企業・クリエイター5G DX支援事業

5G時代のモノづくりを、企業だけでなく、今後のモノづくりの中心となるクリエイターやインフルエンサーに寄り添って、「(市場創出)→価値創造→検証→市場投入→顧客関係維持」までを可能とするプラットフォーム構築を、独自のDX手法により支援する事業。

市場の可能性

『マーケティング4.0』では、クリエイターやインフルエンサーが単純にモノやサービスを勧めるのではなく、それらを利用した結果、どのような自分になれるのかまでを提案する。つまり、マズローの「自己実現欲求」(=コト消費)を満たす市場が求められる。